

HEALTH & PRODUCTIVITY MANAGEMENT REPORT

健康経営レポート

2026年度版

NTN株式会社



「なめらかな社会」の実現へ

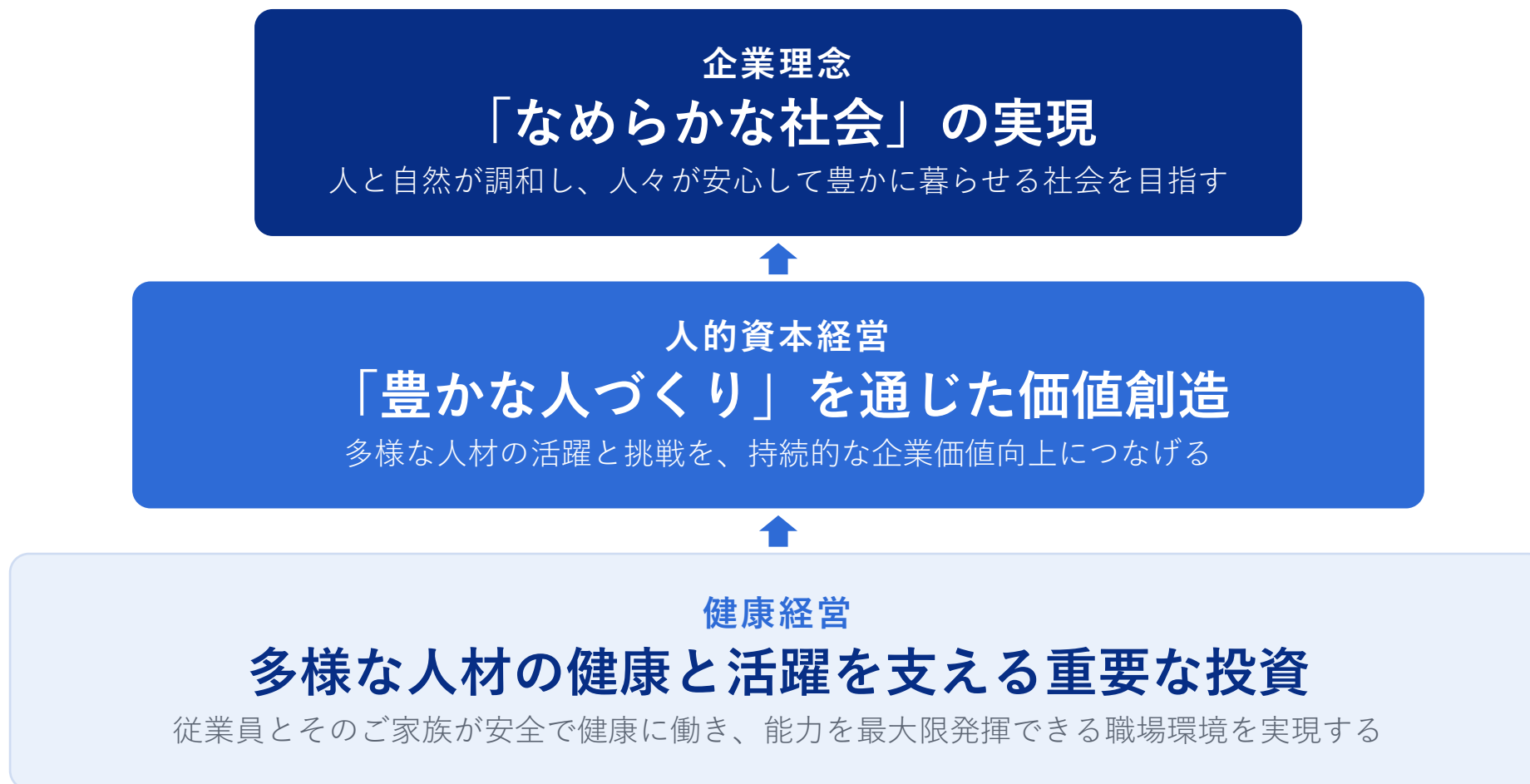
創業者精神を受け継ぎ、人と自然が調和し、
人々が安心して豊かに暮らせる社会を目指します。

従業員とご家族の健康と活躍が、「なめらかな社会」の実現を支えます。



価値創造ストーリー

企業理念の実現に向け、人的資本経営と健康経営を一体で推進します。



健康宣言

従業員が心身ともに健康でイキイキと働ける職場環境づくりを、
経営の基盤として推進します。



TOP MESSAGE

代表執行役 執行役社長

鵜飼 英一

私たちは、従業員とその家族の健康が、NTNグループの持続的に成長していく上での基盤であると認識しています。従業員一人ひとりがいきいきと働き、その能力を最大限発揮できるよう、健康増進や疾病予防に向けた施策及び活力ある職場環境づくりを積極的に推進することを宣言します。

2021年4月28日

NTN株式会社
代表執行役 執行役社長

鵜飼 英一

参考：1980年代より継続してきた健康経営の歩み

1980年代

有給取得の向上・スポーツ活動



2000年代

就業時間内禁煙・カウンセラー面談



2010年代

勤務間インターバル・企業内保育所



2020年代

建屋内全面禁煙・禁煙呼びかけ

健康経営戦略マップ

人材戦略に基づき健康経営を重要な投資と位置づけ、職場・心・身体の3側面から施策を推進し、人的資本経営につなげます。

健康経営の3本柱

職場の健康づくり

働き方と職場環境の改善

- ・働き方・職場環境の改善
- ・健康データを活用した職場支援
- ・ラインケア教育による職場マネジメント改善
- ・ヘルスリテラシー向上のための教育・研修

心の健康づくり

不調の予防と早期支援

- ・ストレスチェックと相談支援
- ・産業カウンセラーとの全員面談
- ・セルフケア教育と早期支援
- ・私傷病からの復職支援

身体の健康づくり

疾病予防と生活習慣改善

- ・健診・保健指導による疾病予防
- ・生活習慣改善
- ・体力測定による転倒予防と運動機能の維持
- ・受動喫煙の防止と禁煙推進

従業員・職場に
期待する変化

健康意識・行動の変化



心身の健康改善



職場の活力向上

健康経営の最終成果指標（KGI）

アブゼンティーイズムの低減

（関連指標：メンタルヘルス不調者の復職率）

プレゼンティーイズムの低減

ワークエンゲージメントの向上

多様な人材の健康と活躍を、持続的な企業価値向上につなげる



「なめらかな社会」の実現

※詳細な健康経営戦略マップはNTNホームページに掲載しています。

健康経営の推進体制とガバナンス

取締役会・各委員会が監督し、CEOの統括のもと各組織が実行し、報告と方針展開のサイクルで推進しています。



健康経営の最終成果指標（KGI）

健康経営の最終成果を3つのKGIで継続的に把握し、経年推移と2026年度目標の達成状況を確認しています。

指標	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度目標
アブセンティーズム関連指標 メンタルヘルス不調者の復職率（％）※1 高いほど良好	40.7	50.0	48.5	53.6	50.0以上を維持
プレゼンティーズム（％）※2 低いほど良好	16.6	17.3	17.0	16.7	15.0
ワークエンゲージメント（点）※3 高いほど良好	2.62	2.62	2.66	2.67	3.00

■ 指標の定義と測定方法

※1：アブセンティーズム関連指標（メンタルヘルス不調者の復職率）

欠勤・休職日数だけでなく、適切な治療と円滑な職場復帰を支える環境づくりを重視し、メンタルヘルス不調者の復職率を関連指標としています。
勤怠システムより全員把握。

※2：プレゼンティーズム

SPQ（東京大学1項目版）で測定した、健康問題による労働生産性の損失割合です。数値が低いほど良好です。

※3：ワークエンゲージメント

ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度（UWES）9項目版で測定しています。0～6点で評価し、数値が高いほど良好です。

※2・3：当社独自アンケート調査より把握 2022年度 6,284名（96.7％）／2023年度 6,336名（94.5％）／2024年度 6,547名（97.0％）／2025年度 6,381名（95.3％）

※欠勤・休職日数の推移はP17に掲載。

健康経営KPIの進捗と課題

2025年度実績 / 2026年度目標

● 目標達成 ● 目標未達

🏠 職場の健康づくり

❤️ 心の健康づくり

👤 身体の健康づくり

パフォーマンス指標



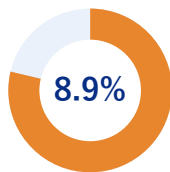
総合健康リスク

目標 95 低いほど良好

前年比 ▲1 改善

目標達成

パフォーマンス指標



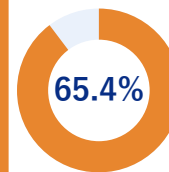
高ストレス者の割合

目標 7.0% 低いほど良好

前年比 +0.2pt 悪化

目標未達 目標を1.9pt上回る

パフォーマンス指標



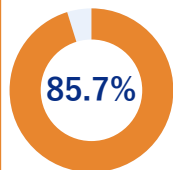
適正体重維持者率 (BMI18.5～25未満)

目標 70.0%

前年比 ▲0.1pt 悪化

目標未達 目標を4.6pt下回る

パフォーマンス指標



年次有給休暇取得率

目標 90.0%

前年比 ▲5.2pt 悪化

目標未達 目標を4.3pt下回る

パフォーマンス指標



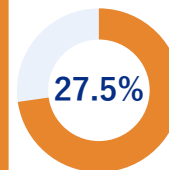
心理的安全性※2

目標 4.0点

2025年度より測定開始のため
前年比較なし

目標未達 目標を0.4pt下回る

パフォーマンス指標



喫煙率

目標 20.0%

前年比 ▲0.3pt 改善

目標未達 目標を7.5pt上回る

詳細はP14

プロセス指標



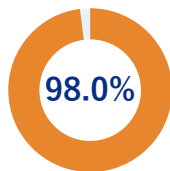
ラインケア研修 受講率※1

目標 100.0%

前年比 ±0.0pt 維持

目標達成

プロセス指標



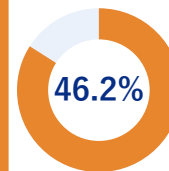
ストレスチェック 受検率

目標 100.0%

前年比 +0.4pt 改善

目標未達 目標を2.0pt下回る

パフォーマンス指標



特定保健指導実施率

目標 55.0%

前年比 +5.8pt 改善

目標未達 目標を8.8pt下回る

健康経営戦略マップと連動 ● パフォーマンス指標：施策による成果・効果を確認する指標 ● プロセス指標：施策の実施状況を確認する指標

※ラインケア研修は、上司の気づきを職場環境の改善につなげる取り組みとして「職場の健康づくり」に位置づけています。

© NTN Corporation ※1アウトカム指標：P7「健康経営の最終成果指標（KGI）」 ※2心理的安全性は、エイミー・C・エドモンドソン教授が提唱した7項目の設問を用いて測定しています8

2026年度の重点施策

『職場の健康レポート』で職場の健康データが見える化し、各職場で課題を特定して改善につなげます。
KPI・KGI分析に加え、高年齢従業員の作業特性とエイジフレンドリーな職場づくりの観点から、安全・健康支援を段階的に進めます。



健康データ活用による職場改善

課題：健診結果・生活習慣・プレゼンティーズム等の傾向が職場ごとに異なり、職場の特性に応じた対応が必要

- ・ 健診結果・生活習慣・プレゼンティーズム・ワークエンゲージメント等を『職場の健康レポート』で見える化
- ・ 上司が職場の健康課題を把握し、部下との対話で職場改善のアクションへつなげる

健診結果
判定区分

生活習慣

プレゼン
ティーズム

心理的安全性

ワーク
エンゲージメント

対象：全事業場 / 2025年度実績より本格運用



60歳以上従業員の体力測定

課題：高年齢従業員の増加と、加齢に伴う身体機能の変化への対応が必要

- ・ 転倒リスク低減と体力の見える化を目的に5種類を測定
- ・ 歩行能力、手作業の巧緻性、身体調整力など製造現場で重要な機能を測定
- ・ 結果を一人ひとりにフィードバックし継続的に改善

歩行

手作業

身体調整

姿勢変換

2ステップテスト

対象：60歳以上の従業員 / 2026年度は一部事業場で先行実施し順次展開

施策①

評価指標

- ・ 要精密検査・要医療受診率
- ・ 心理的安全性
- ・ ワークエンゲージメント

成果

職場改善と
エンゲージメント向上

※要精密検査受診率・要医療判定者受診率について、2027年度中の目標設定に向け、NTN健康保険組合と連携し検討を進めています

施策②

評価指標

- ・ 体力測定実施率
- ・ 体力年齢の測定結果
- ・ 安全衛生活動への反映

成果

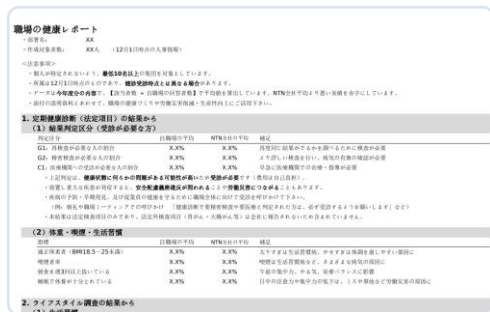
転倒リスク低減と
健康意識の向上

※体力測定は2024・2025年度の試行・検証を経て、2026年度から一部事業場で先行実施しています。参加率、体力年齢の変化および転倒災害の発生状況との関連を継続的に測定し、効果を検証します

職場の健康づくり

職場の健康データを見える化し、職場改善と従業員一人ひとりの健康行動につなげます。

施策1 | 職場の健康レポート



職場単位のデータ活用

施策2 | 各種eラーニング

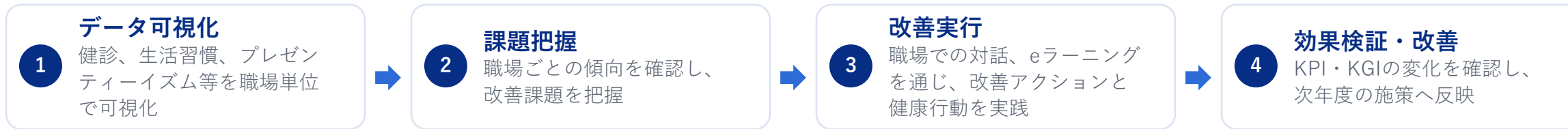


食生活・運動習慣

女性の健康

AEDセミナー

職場の健康づくりの改善サイクル



期待する変化
健康行動の定着と、働きやすく活力ある職場づくり

※ 関連するKPIはP8『健康経営KPIの進捗と課題』を参照

心の健康づくり

役割やキャリアの段階に応じた教育と支援を通じて、不調の予防と早期対応、安心して相談できる職場づくりを進めます。

代表的な取り組み

ラインケア研修（管理職向け）

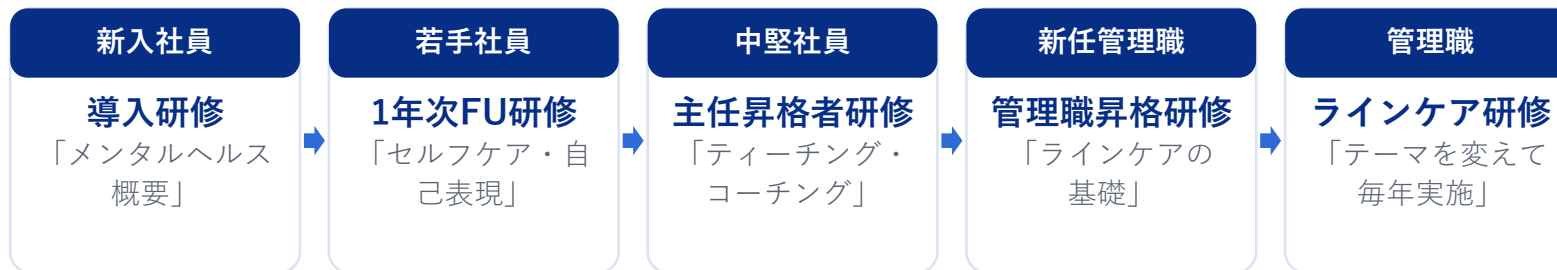


管理職の気づきと対話を後押しし、部下の不調の早期発見・早期支援につなげます。

産業カウンセラーによる全員面談

全従業員を対象に、産業カウンセラーが個別面談を実施。不調の兆候を早期に把握し、必要に応じて健康管理室や専門機関への相談につなげます。

階層別メンタルヘルス教育 当社の階層別研修のうち、心の健康や職場支援に関連する研修を抜粋



※ラインケア研修は職場環境の改善にも直結するため、KPIは「職場の健康づくり」に掲載しています（P8参照）

職場適応支援

メンター制度

- ・正式配属後の半年間、先輩社員によるOJTを通じて職場適応を支援
- ・新入社員の早期の職場適応と、安心して相談できる関係づくりを支援

キャリア自律支援

キャリアの節目における自律支援

- ・35歳・45歳・55歳の節目に、今後の働き方やキャリアを主体的に考える機会を提供
- ・働きがいと将来への安心感を支える関連施策

状態把握



予防・教育



相談・早期支援・復職支援



職場環境改善・復職定着支援

期待する変化

不調の予防・早期対応と、安心して働ける職場づくり

身体健康づくり

健診結果と体力測定を起点に、疾病予防、早期受診、生活習慣改善、健康習慣の定着を切れ目なく支援します。

課題 | 転倒災害への対応

2022～2024年の労働災害の**15%**が転倒によるものでした。
高年齢従業員の身体機能変化への対応が課題です。



体力測定（60歳以上）

2026年度より本格展開

体力を可視化し、一人ひとりへのフィードバックを通じて、転倒リスクの低減と運動習慣づくりにつなげます。

身体健康の改善サイクル



健康習慣の定着支援

参加者数は、2022年秋の121名から2026年春の638名へ拡大

kencom「みんなで歩活」参加人数



スポーツ活動の推進



歩活への参加促進に加え、社内クラブ活動やスポーツ活動、地域貢献活動を継続的に支援しています。

地域貢献活動として親子かけっこ教室を開催

期待する変化

疾病予防・重症化予防と、健康で長く働ける身体づくり

2025年度 健康データ・サマリー

健康診断、生活習慣、メンタル、労働時間に関する主なデータから、2025年度の成果と今後の重点課題を整理しました。



健康診断

定期健診受診率 **100%**

有所見率 **63.0%**

要精密検査受診率 **58.6%**



生活習慣

適正体重維持者率
(BMI18.5～25未満) **65.4%**

歩行習慣
(独自アンケート) **49.7%**

喫煙率 **27.5%**



メンタル

高ストレス者の割合 **8.9%**

欠勤・休職日数
(メンタルヘルス不調) **1.56日**

欠勤・休職者数
(メンタルヘルス不調) **69人**



労働時間

有給休暇取得率 **85.7%**

長時間労働
45h超 **129人**

長時間労働
80h超 **0人**

成果

2025年度の主な成果

- 定期健康診断受診率 100%を維持
- 月80時間超の長時間労働者 0人を達成
- 要精密検査受診率 58.6%まで向上

課題

今後の重点課題

- 有所見率63.0%を踏まえた疾病予防・重症化予防の強化
- 要精密検査受診率58.6%のさらなる向上に向けた受診勧奨の強化
- 高ストレス者の割合8.9%と欠勤・休職（1.56日／69人）への対応
- 喫煙率27.5%の低減に向けた、ヘルスリテラシー向上による禁煙への関心度の引き上げ

自社での実践から、取引先とともに進める健康経営へ

健康データから把握した自社の課題に取り組むとともに、その実践を通じて得た知見を、取引先の健康経営の推進にも活かしていきます。

受動喫煙低減と禁煙支援

禁煙宣言に基づき、受動喫煙を含む喫煙の健康リスク低減に向けて、禁煙支援と職場環境の整備を継続的に推進しています。

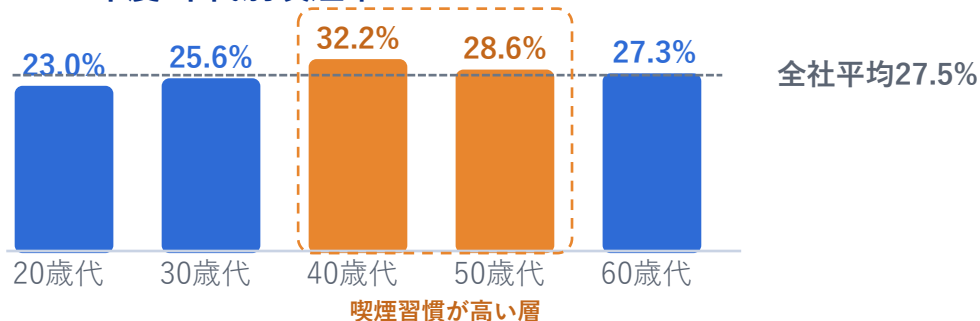
NTN禁煙宣言

受動喫煙を含む喫煙の健康リスク低減に向けた取り組みを鋭意実行することを宣言します。

2021年4月1日

1. 課題と対応方針 | 喫煙の構造とヘルスリテラシーの向上

2025年度 年代別喫煙率



- 40歳代（32.2%）が最も高く、40・50歳代が全社平均を上回る
- 全社喫煙率27.5%は、全国成人男性平均24.5%を上回る水準
- 喫煙率の減少傾向は鈍化し、近年は下げ止まりの状態

▶ 対応方針

喫煙習慣が長期にわたり定着した層には、禁煙支援策の提供だけでは行動変容に至りにくいため、喫煙の健康リスクに関するヘルスリテラシーを高め、「禁煙への関心度」を引き上げることによって喫煙率の低減につなげます。

※従業員の約9割が男性のため全国成人男性平均と比較。

出典：厚生労働省「令和6年国民健康・栄養調査」

2. 禁煙の推進施策

環境整備

- 就業時間内禁煙（2004年～）
- 建屋内全面禁煙
- NTN一斉禁煙デー
（休憩時間含む終日禁煙を呼びかけ）

意識・行動への働きかけ

- 禁煙呼びかけ活動
（年2回・喫煙の健康リスクを周知）
- 禁煙サポーター制度
（非喫煙者が禁煙への挑戦を支援）
- 禁煙補助薬の補助（費用の一部を補助）
- 受動喫煙の健康影響の周知
（結婚・出産をした従業員へ個別に実施）
- 喫煙率・禁煙関心度の職場への開示
（上司からの声かけにより関心を高める）



禁煙呼びかけ活動

3. モニタリング結果

リテラシー向上から行動変容へ繋げる

※禁煙への関心度を喫煙率低減につなげる先行指標と位置づけ、2026年度目標を35.0%としています。

先行指標

禁煙への関心度※

15.1%

前年比+0.7pt改善

2026年度目標35.0%

成果指標

喫煙率

27.5%

前年比▲0.3pt改善

2026年度目標20.0%

※喫煙者を対象とした当社独自アンケート結果

取引先とともに進める健康経営

取引先アンケートで課題を把握し、テーマ別セミナーや意見交換会を通じて、サプライチェーン全体の健康経営を推進しています。

取引先における課題

- 健康経営の認知・理解が不足
- 情報・ノウハウに企業間格差
- NTNと共通する健康課題を抱える
- 個社ごとの困りごと把握が必要

実際の取り組み

内山工業株式会社様、パーソルテンプスタッフ株式会社様
との意見交換会・ノウハウ共有



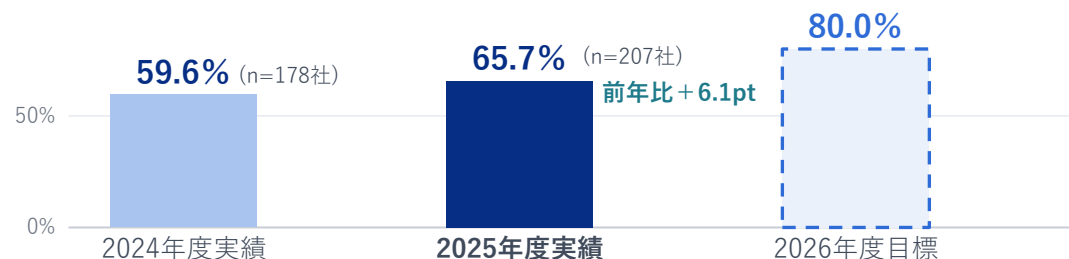
熱中症対策セミナー



取引先と進める健康経営の推進サイクル



健康経営の認知度



※当社独自アンケートで健康経営の『内容を知っている』と回答頂いた割合

効果検証指標

健康経営優良法人
認定状況
37社／207社

健康経営セミナー参加
2025年度実績 31社
2026年度実績 72社

対話・把握の実施状況
意見交換会・
アンケート

取引先の声を起点に、サプライチェーン全体へ健康経営を広げます。

健康経営に関連する顕彰の受賞歴

健康経営の取り組みが社外からも評価され、各種の顕彰を受賞。

顕彰名	受賞年度	顕彰の内容	主管省庁
 健康経営優良法人 大規模法人 部門（ホワイト500）	2021～2026年度	優良な健康経営を実践する企業を毎年度認定。 「ホワイト500」に6年連続で認定。	経済産業省
 スポーツエールカンパニー （シルバー）	2020～2026年度	スポーツ実施に積極的な企業を認定。2026年度よりシルバー認定。	スポーツ庁
ベストプラクティス企業	2018年度	長時間労働削減に取り組む企業を選定。	厚生労働省
 子育てサポート企業 「プラチナくるみん」	2022年度	高水準の仕事と育児両立支援企業を認定。	厚生労働省
 女性活躍促進優良企業 「えるぼし」（3つ星）	2020年度	女性活躍推進が優良な企業を認定。	厚生労働省

中長期トレンドと今後の課題

基準年度実績と2025年度実績を比較しています。

改善 14項目

課題 7項目

■ 対2020年度実績との比較 + 対2020年度で増加 / ▲ 減少 (数値は2020年度→2025年度実績)

① 職場の健康づくり

平均勤続年数	19.5年 → 19.6年	+0.1年
長時間労働(月45h超)	259人 → 129人	▲130人
長時間労働(月80h超)	20人 → 0人	▲20人
欠勤日数(疾病・メンタル)	1.88日 → 2.61日	+0.73日
欠勤人数(疾病・メンタル)	114人 → 141人	+27人
eラーニング(生活・運動)	89.5% → 93.8%	+4.3pt
eラーニング(女性の健康)	88.1% → 96.4%	+8.3pt
AEDセミナー受講率	100% → 80.6%	▲19.4pt
主体的健康観(※8)	33.9% → 34.2%	+0.3pt

② 心の健康づくり

産業カウンセラー面談率	100% → 86.0%	▲14.0pt
欠勤日数(メンタルヘルス不調)	1.16日 → 1.56日	+0.39日
欠勤人数(メンタルヘルス不調)	58人 → 69人	+11人

- 領域別の傾向
- ① 職場の健康づくり | 長時間労働・eラーニング受講率は改善／AEDは未達
 - ② 心の健康づくり | 産業カウンセラー面談率は未達、メンタル起因の欠勤・休職が増加
 - ③ 身体の健康づくり | 血圧・血糖・歩行習慣・kencom登録率は改善、有所見率は増加傾向

③ 身体の健康づくり

定期健康診断受診率	100% → 100%	±0.0pt
有所見率(※1)	52.7% → 63.0%	+10.3pt
要精密検査受診率(※2)	39.9% → 58.6%	+18.7pt
要医療判定者受診率(※2)	35.1% → 51.8%	+16.7pt
血圧管理割合(※3)	49.9% → 56.0%	+6.1pt
血圧リスク者率(※4)	0.7% → 0.5%	▲0.2pt
血糖リスク者率(※5)	0.7% → 0.5%	▲0.2pt
糖尿病管理不良者率(※6)	1.5% → 1.4%	▲0.1pt
歩行習慣の割合 (※7)	37.3% → 49.7%	+12.4pt
kencom登録率	24.7% → 32.9%	+8.2pt

- ※1：血圧、肝機能、血中脂質等、安衛則第44条の法定検査項目
- ※2：要精密検査受診率、要医療判定者受診率は2023年度実績を基準として比較
- ※3：収縮期血圧 140 mmHg未満かつ拡張期血圧 90 mmHg未満
- ※4：40歳以上の収縮期血圧 180 mmHg以上または拡張期血圧 110 mmHg以上
- ※5：40歳以上の空腹時血糖が200mg/dl以上
- ※6：40歳以上のHbA1cが8.0%以上
- ※7：当社独自のアンケート調査で「毎日」または「週2~3回歩いている」と回答した割合
- ※8：当社独自のアンケート調査で「満足」と回答した割合

<参考> 従業員の健康・福利厚生を支える医療・健康関連費用（2025年度実績）
定期健康診断、保健指導、メンタルヘルス対策、健康増進活動、復職支援等 246百万円
(従業員1人当たり 約38.6千円) 17
個別施策への投資額：定期健康診断・ストレスチェック46百万円



なめらかな社会を、 健康で支える。

一人ひとりの健康と活躍を、
持続的な企業価値と「なめらかな社会」の実現へ。

NTN株式会社 人事部

※本レポートに記載のデータは、NTN株式会社単体の実績です。

※健康経営はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※kencom®および『みんなで歩活』は株式会社DeSCヘルスケアの登録商標です。

※資料の無断転用・転載はご遠慮ください。

